



Green × Tech City Kitakyushu

## Kitakyushu City IT Company Location Guide

北九州市 IT企業誘致のご案内



北九州市産業経済局企業誘致部企業誘致課  
〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区内1番1号  
TEL 093-582-2065 FAX 093-582-1202

北九州市東京事務所首都圏企業誘致センター  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号 東京交通会館6階  
TEL 03-6213-0093 FAX 03-6213-0090

詳しくはコチラから





Point 01

# Market

日本有数のものづくり拠点である北九州市。  
地方のDX・GXモデルシティとなり得るポテンシャルがあり、  
IT企業にとって多くのビジネスチャンスが見込めます。

## ものづくり産業が集積

### ものづくりDXでビジネスチャンス

「ものづくりのまち」として日本の近代化を支えてきた北九州市。世界に誇れる技術を有する企業も多く集積しています。北九州市の強みといえる「ものづくり」産業において、生産性を高め、新たなビジネスモデルへ変革させるため、DXのニーズが非常に高まっています。北九州市は、IT企業にとってDXの顧客開拓の可能性が高いまちであり、IT企業の進出が大きく加速しています。



## GXでビジネスチャンス

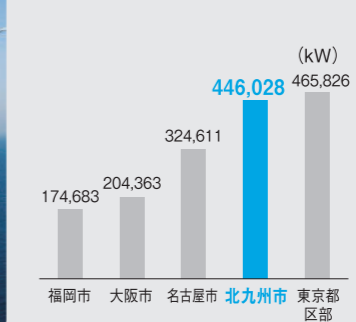
### 2050年にゼロカーボンシティ実現

北九州市は、2050年にゼロカーボンシティ実現を目指す「北九州市グリーン成長戦略」を掲げています。その核として位置付けているのが洋上風力発電です。響灘沖で国内最大規模の洋上風力発電所の建設が進んでいます。また、「産学官金・オール北九州」で国内外のGX投資を呼び込む「北九州GX推進コンソーシアム」を発足し、地域一体となって、カーボンニュートラル及び地域企業の成長・新産業の創出に向けて取り組んでいるところです。



### 次世代エネルギーが集積

再生可能エネルギー導入容量(2022年)



## DX推進のトップランナー

### 専門家の伴走支援・補助金制度により総合的に支援

2020年に「DX導入希望企業」と「DX導入サポート企業」をマッチングできる「北九州市DX推進プラットフォーム」を創設。また、2022年には北九州学術研究都市に「北九州市ロボット・DX推進センター」を設置し、専門家による総合的な導入支援を行うなど、北九州市にはIT企業と地元企業とのマッチングがしやすい体制が整っています。



### 進出企業の声



**WingArc 1st**  
The Data Empowerment Company

ウイングアーク 1st 株式会社

代表取締役 社長執行役員CEO

**田中 潤氏**

2023年2月進出

### データ活用で成長への再起動、「ザ・北九州モデル」を構築

当社は、「情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。」というビジョンのもと、データ活用のプロフェッショナル企業として、多くの企業の業務効率化や業績向上を支援しています。地域企業がDXやカーボンニュートラルの必要性に迫られる中、当社ではそのご支援を行うため、地域の課題やニーズを掘り起こし、また実証を通じた地域創生のモデル事業を展開するべく、「地域創生ラボ」を立ち上げることにしました。その進出先として、DX・GXの分野で先進的評価を得ている北九州市を

選定しました。2023年7月には北九州市と包括連携協定を締結し、その第一弾として、当社のCO<sub>2</sub>排出量算定ツールを北九州市に提供しており、将来は市内2,000社に活用いただきたいと考えています。また、当社の中小企業支援プラットフォームを活用し、市内中小企業のDX化にも協力していきます。このような「ザ・北九州モデル」を全国にも展開し、ビジネス拡大及び地域創生を進めていきます。

# Resource

北九州市が工業都市として発展する原動力になったのは、恵まれた人的・物的資源です。  
豊富な人材、安価な土地、充実した交通インフラなどは、ITビジネスを加速させる原動力でもあります。

## 人材採用しやすいまち

### 豊富な理工系人材

まちの発展とともに北九州市には理工系の大学などが多く創設されました。現在、市内には理工系の学校が14校あり、毎年約3,000人の人材を輩出、高い人材供給力は北九州市の大きな強みです。2001年には、理工系の大学・大学院や研究機関が一つのキャンパス内に集積し、民間企業と一緒に研究開発を行う「北九州学術研究都市」がオープン。豊富な理工系人材は、まちを支える一翼を担っています。



九州工業大学 / 早稲田大学大学院 情報生産システム研究科 / 福岡大学大学院 工学研究科 / 北九州市立大学 / 西日本工業大学 / 北九州工業高等専門学校 / 九州職業能力開発大学校 / KCS北九州情報専門学校 / 専門学校九州テクノカレッジ / 麻生情報ビジネス専門学校 / 北九州情報ITクリエイター専門学校(大原学園) など

## 低コストで進出可能

### オフィスの安さ主要都市で「第1位」

オフィス賃料の安さも、北九州市が進出先として選ばれる理由の一つです。近隣都市へのアクセスが容易な位置にありながら、オフィス賃料は主要都市の中で最も低く、多くの企業が進出するにあたっての決め手となっています。さらに賃料やオフィスリノベーションに対する補助金制度なども充実しており、低コストでの進出をサポートしています。

### 2022年坪単価平均



※民間不動産会社レポート

## 交通インフラが充実

### 陸路・空路ともに好アクセス

北九州市の要となる小倉駅は新幹線・特急・在来線のすべてが停車、本州や九州へのアクセスも良好。九州で唯一の24時間利用可能な空港である北九州空港からは、東京・羽田便が早朝から深夜まで就航。2027年の滑走路延伸を控えており、より一層の機能強化に力を入れています。



### 新幹線

小倉-新大阪間  
**2時間10分**  
小倉-東京間  
**4時間40分**



### 北九州空港

北九州-東京(羽田)  
**1時間30分**

### 進出企業の声



日本アイ・ビー・エム  
デジタルサービス株式会社

代表取締役社長  
**中村 健一氏**

2022年11月進出

### 地域と共創し、世の中をより良く変えていくカタリスト(触媒)に

当社は、日本IBMグループ最大のITプロフェッショナル集団として、2020年に誕生しました。2022年に、高度なシステム開発・保守運用の拠点として「IBM地域DXセンター」を開設し、以降、北九州市を含め全国8拠点に拡大しながら、地域企業との新たなビジネス創出や地域におけるデジタル人材の育成に取り組んでいます。北九州市は、日本IBM創業以来のご縁があり、環境未来都市として産学官の共創を推進できるポテンシャルがあること、人材の獲得に期待ができること、交通アクセスの利便性が高いことなど

から拠点を開設し、以降、着実に拠点を拡大しているところです。現在、学生・企業・行政による「地域共創ワークショップ」の開催や大学と連携したDX人材の育成、熱マネジメントによる地域のGXの推進など、北九州市や地域の企業、教育機関と連携して様々な取組を実施しています。今後もIBM創業理念の一つである「良き企業市民」としての責任と誇りを胸に、「IBM地域DXセンター」を産学官で価値共創する拠点として、地域活性化に貢献していきたいと考えています。

# BCP

災害リスクが少ない都市にバックアップ機能を設ける

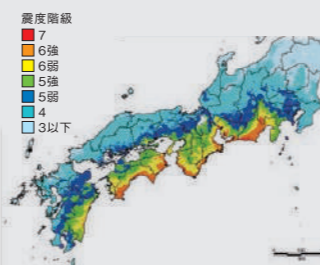
BCP(Business Continuity Plan 事業継続計画)対策は、国内企業にとって重要なテーマになっています。

北九州市は、政令指定都市の中でも群を抜いて災害リスクが低く、企業活動を支えるバックアップ拠点として、多くの企業から選ばれています。

## 地震が少ないまち

過去100年において、北九州市及びその周辺地域を震源とする震度4以上の地震はほとんど発生しておらず、このことが1901年に官営八幡製鐵所の立地が本市に決定した理由といわれています。また今後30年間に震度6以上の揺れに見舞われる確率も低いという報告がなされています。

南海トラフ巨大地震の想定震度分布



2012年3月31日 内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第15回)」資料より

震度4以上の地震の回数(過去100年)



出典:気象庁震度データベース

## 洪水が少ないまち

北九州市は他地域と比較しても氾濫危険性が低く、ほかにも地形的な特性から津波や台風・大雨・大雪の被害も少ないことで知られる地域です。

洪水被災想定区域図

赤色が濃いほど、河川氾濫の危険性が高い

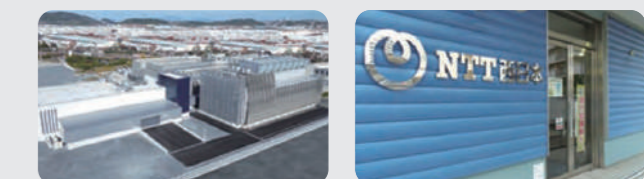


出典:国土交通省 ハザードマップポータルサイトより作成

## バックアップ首都

自然災害リスクの低さや、充実したインフラなどのポテンシャルに優れた北九州市は、日本、さらにはアジア・世界を支える「バックアップ首都」を掲げ、バックアップ機能の集積を進めています。また、2027年秋には九州最大級となるデータセンターの着工が新たに予定されており、バックアップ拠点としてますます注目を集めています。

データセンター



### 進出企業の声



GMO  
INTERNET GROUP

GMOインターネットグループ  
株式会社

代表取締役グループ代表  
熊谷 正寿氏

2018年4月進出

### 北九州市から「すべての人にインターネット」を

GMOインターネットグループは創業以来インターネットの「場」の提供に集中し、インターネットインフラ、セキュリティ、広告・メディア、金融、暗号資産事業を展開しています。中でも、インターネットインフラのドメイン登録・販売は約80%、クラウド・レンタルサーバーは約60%と国内トップシェアを誇ります。

2018年、災害リスクが低く、交通アクセスの利便性の高いアジアの玄関口である北九州市に、グループ初のエンジニア・サポート拠点「GMO kitaQ」を開設。GMOインターネット株式会社がシステム開発・運用・監視・保守業務を担い成長を続け、

2022年にJR小倉駅直結の複合商業ビルに拡張移転、2024年にフロアを増床し、現在では180名を超える大規模拠点となりました。また、エンジニアのUIターンを受け入れや、地域の高等専門学校や大学などの教育機関と連携し、積極的な地域採用を行っています。

今後も、社会インフラとなったインターネットをより豊かに便利に安全にするため、お客様に喜ばれる圧倒的No.1 サービスを提供してまいります。

# Support/HR

九州・山口地域の教育機関へのアプローチなど、進出企業の認知度向上および人材採用に直結する伴走支援を行っています。そのほかにも手厚い支援で、IT企業の進出から進出後も、全力でサポートします。

撮影協力:GMOインターネットグループ株式会社(GMO KitaQオフィス)

## 専任職員による個別の人材採用支援

北九州市では、採用支援のための専任職員を置き、進出企業の担当者とともに学校への訪問又はお繋ぎを行っています。また、教員等と連携した企業説明会を開催し、学生に対するアプローチの機会も創出しています。

九州・山口地域の  
学校との  
ネットワークを活用



人材採用支援における  
連携学校数  
約 **45** 校

市職員が企業担当者とともに  
学校訪問等  
年間同行訪問  
約 **160** 回

## 新卒採用支援、U・Iターン施策

北九州市では、学生のIT技術向上を図るプログラムを実施し、進出企業との接点創出を図るとともに、本市への就職意欲を促進させる「学生IT向上プログラム」を行っています。



また、北九州市や進出企業の魅力を発信し、即戦力人材との接点創出を図るキャリア採用イベントを行いながら、「小倉デジタル城下町」というブランディングを進めています。



### 進出企業の声



GigWorks  
XIT

ギグワークスクロスアイティ  
株式会社

代表取締役社長

**小島 正也氏**

2023年1月進出

### リスクリング人材の採用により企業のさらなる活性化を

当社では、多様なテクノロジーが生まれ革新していくICT業界において、どんな場面や環境でも対応できる「人間力」の育成が重要と考え、一人ひとりの社員を大切に育てています。北九州市に進出してすぐ、IT業界へのスキルチェンジ希望者等へ学び直し(リスクリング)の機会を提供し、修了生を市内IT企業に輩出する事業「北九州市IT学び直しプロジェクト

(令和5年度まで実施)」に賛同しました。

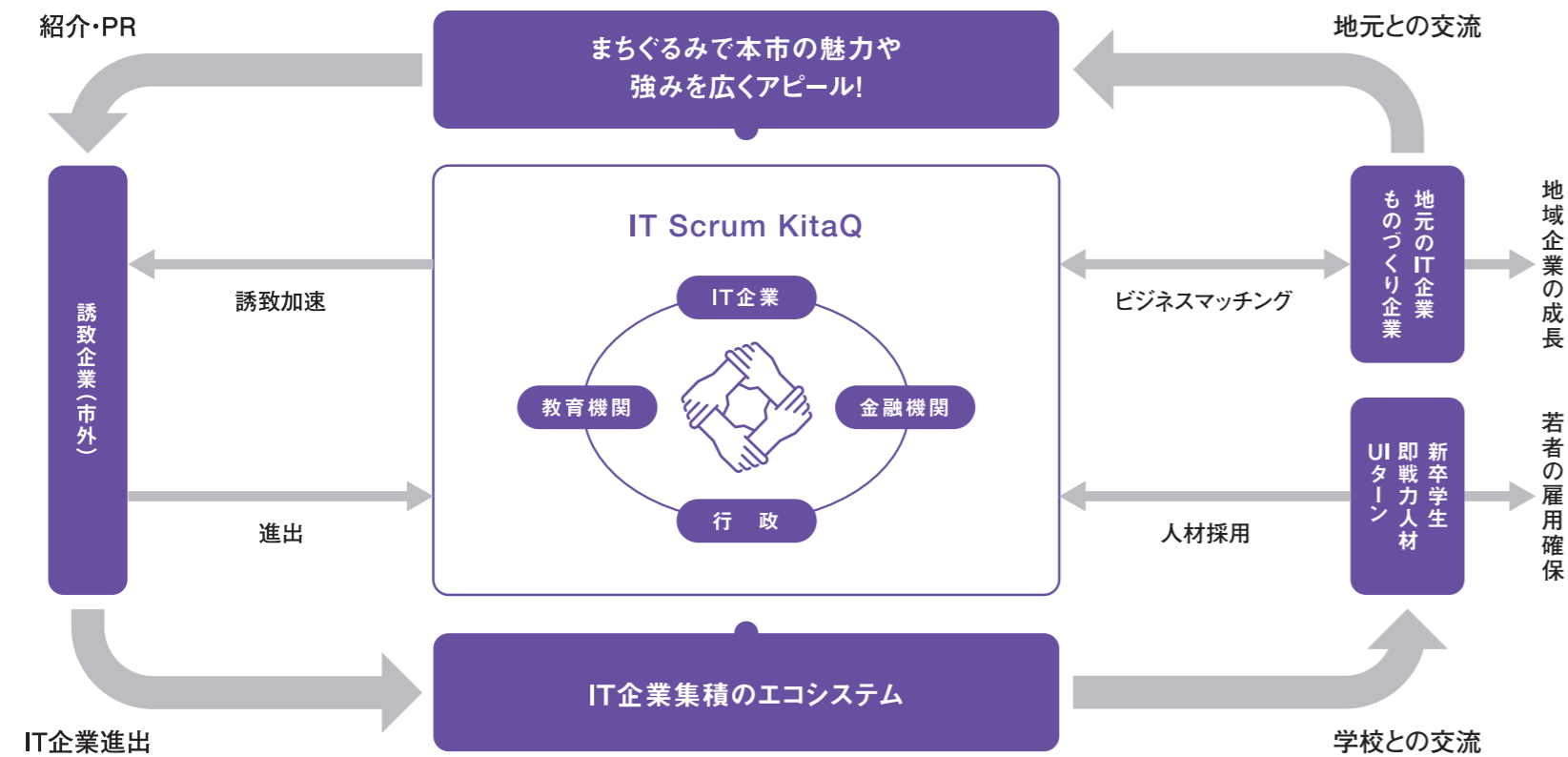
当社は賛同企業として、受講生への講義なども行い、修了生を採用しています。未経験者ながらも実践的な言語学習や実習を乗り越えてきたITに情熱ある方々を採用し、すでに東京本社や他事業所のメンバーとも連携をとりながら活躍いただいています。



## 産学金官が連携したネットワーク

# IT Scrum KitaQ

北九州市内の産学金官が連携して、まちぐるみで市の魅力や強みをアピールし、IT企業の集積を加速させるエコシステムです。IT企業と地域が一体となるコミュニティを拡大していきます。



## 進出体験を支援

北九州市への進出を検討する企業を対象に、「交通費」「宿泊費」「ワークスペース利用料」を助成。さらに、滞在スケジュールは各社個別にアレンジし、地元企業や学校とのマッチング支援を行います。

●事業開始以来(2020年10月～)  
**290社の来北**  
**53社の本市進出**

気軽に  
おためし!  
北九州市への  
進出体験

### おためしBIZ(旧おためしサテライトオフィス)

|  |  |
|--|--|
| <p><b>進出検討にかかる費用の補助</b></p> <p><b>移動費用補助</b><br/> <small>上限60,000円/人(片道30,000円)</small></p> <p><b>宿泊費・ワークスペース利用料補助</b><br/> <small>上限10,000円/日</small></p> | <p><b>滞在スケジュールを各社個別にアレンジ</b></p> <p><b>企業とのマッチング</b><br/> <small>～ビジネス環境調査</small></p> <p><b>教育機関のご紹介</b><br/> <small>～人材採用の支援</small></p> |
|--|--|

## IT企業進出に向けた資金的支援

### オフィス立地促進補助金

北九州市内にオフィスを新設する企業などに、オフィス賃料や改修費用の一部、また新規雇用に対する補助を行います。高い補助率により、多くの企業がこの補助金制度を活用しています。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>オフィス賃料に対する補助金</b></p> <p>当初2年間の<br/>賃料+共益費<br/> <b>50%</b><br/> <small>※福岡県民を3名以上新規雇用</small></p> | <p><b>新規雇用に対する補助金</b></p> <p>新規雇用者<br/>1人あたり<br/> <b>最大30万円</b><br/> <small>※北九州市民を3名以上新規雇用</small></p> |
|---|---|

### 参加企業の声



三菱総研DCS株式会社

代表取締役社長  
**亀田 浩樹氏**

2023年2月進出

### 地域企業とのアライアンス強化で、お客様の企業価値向上を加速

当社は、三菱総合研究所のグループ中核企業として、コンサルティングからIT実装まで幅広く手掛け、お客様や社会の課題解決に貢献しています。

当初、九州地方におけるビジネスの調査段階において、「おためしBIZ」制度を活用し、教育機関訪問や物件内覧など、北九州市役所の皆さまにサポートいただきました。2023年2月には、「九州拠点準備室」を開設し、ビジネス展開支援、九州・山口地域の学生、U・Iターン希望者とのマッチング機会の創出など、市役所の皆さまに伴走いただきました。このような手厚いサポートのおかげもあり、北九州市が拠点として最適と判断し、2024年4月に無事「九州支社」を開設いたしました。BIZIA KOKURAでの開所式には武内市長にもご来臨賜りました。また同ビルで開催されたポッチャ大会への参加など楽しいイベントもあり、大変盛り上がっています。今後も、地域企業とのアライアンス強化や地域教育機関との連携を通じ、ビジネス促進とともにさらなる社会貢献に努めてまいります。

# Liveable

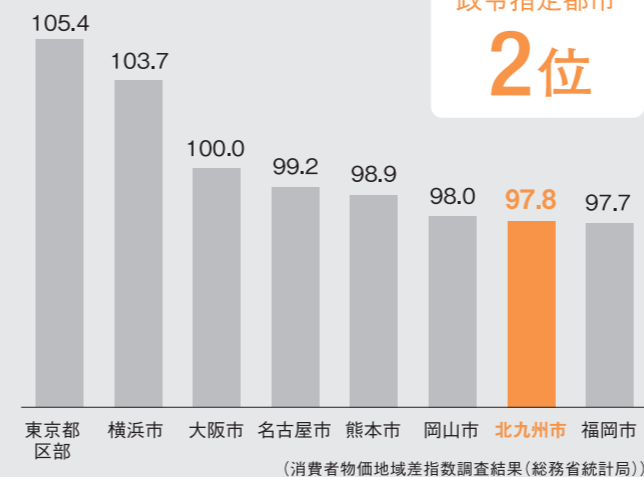
都市機能が充実した暮らしやすい都市でありながら、海や山が身近に感じられる自然が融合したまちです。物価の低さや家賃の安さだけでなく、安心して充実した生活を送れる北九州市の環境が、働くひとのパフォーマンスを支えます。



## 暮らしやすいまち

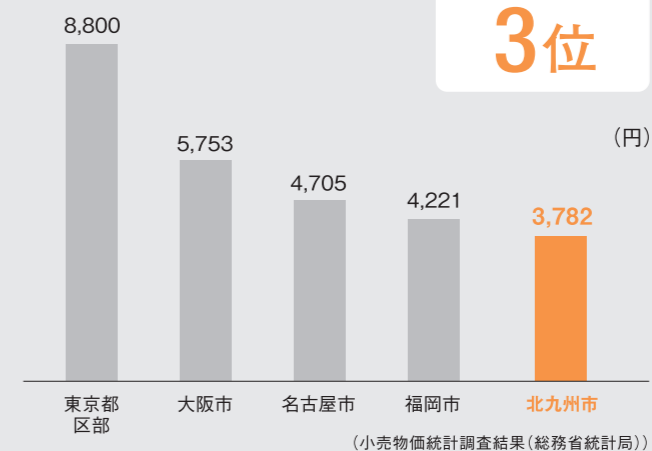
### 物価が安い

2023年消費者物価地域差指数



### 家賃が安い

2023年民間賃貸住宅の平均家賃 (1ヵ月3.3㎡当たり)



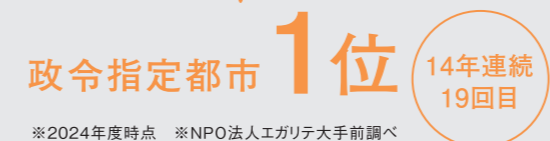
### 通勤時間が短い



## 子育てしやすいまち

### 整った子育て環境

子育てしやすい環境ランキング



待機児童 12年連続 **0人**

第2子以降 保育料 **無償**

### 高い出生率

合計特殊出生率



### 小児救急医療が充実



# Workplace オフィスビル・コワーキングスペース紹介

## BIZIA KOKURA

「ビジネス」を意味する「BIZ」と、ラテン語で「集まる」を意味する「IA」を組み合わせたネーミング。北九州市の魅力が踏襲したインテリジェントスマートオフィスビルです。

〒802-0006  
福岡県北九州市小倉北区  
魚町3丁目5-5



## 小倉京町センタービル

JR小倉駅から徒歩5分、京町四丁目交差点に面した好立地に最新設備を備えたオフィスビルが2026年秋頃に竣工します。

〒802-0002  
福岡県北九州市小倉北区  
京町3丁目14-8



## COMPASS小倉

〒802-0001  
福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1  
AIMビル 6F



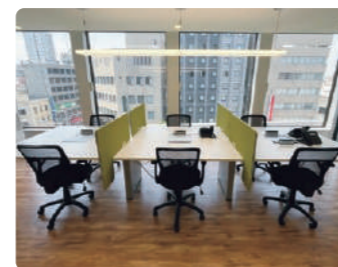
## コワーキングスペース 秘密基地

〒802-0002  
福岡県北九州市小倉北区京町2丁目2-19  
小倉ジャンジャンビル 3F



## ATOMica北九州

〒802-0002  
福岡県北九州市小倉北区京町3丁目1-1  
セントシティ 7F



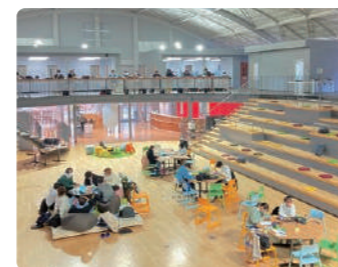
## リージャス小倉駅前 リザーブドコワーキング

〒802-0003  
福岡県北九州市小倉北区米町1丁目1-1  
小倉駅前ひびきビル 6F



## DISCOVERY coworking

〒802-0001  
福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1-1  
ビエラ小倉 1F



## GYMLABO

〒804-0015  
福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1  
(九州工業大学戸畑キャンパス内)

# 日本を変えるポテンシャルのまち、北九州市。

北九州市は、1901年、官営八幡製鐵所の創業以来、「ものづくりのまち」として発展し、日本の高度経済成長を支えてきました。現在では、自動車やロボット、グリーン産業も発展し、アジアに一番近いテックシティとしての地位を確立しています。

また、地域企業の技術力や教育機関の研究開発力といった北九州市の持つ強みを掛け合わせ、IT・半導体・次世代自動車・宇宙など、北九州市の発展に欠かせない産業分野の創出・集積に注力しています。

北九州市には、産業や物流のインフラ、災害に対する強靱性、都会と自然と歴史と食の調和したまちの魅力、

そして多様性を尊重する熱い人情とまちへの愛着を持つ市民の皆様といった、数えきれないほどの魅力があります。

このように魅力が溢れるれたまちは、なかなかありません。市全体が一丸となって、これらの力を有機的につなげ、更なる成長とともに日本全体に変革をもたらす、そのポテンシャルが北九州市にはあります。

ぜひ、北九州市にお越しいただき、この魅力を体感してみてください。企業の皆様の新たなビジネス展開を、全力でご支援させていただきます。

北九州市長

武内 和久

### 主な経歴

平成6年～ 東京大学法学部 卒業  
厚生省(現:厚生労働省)入省  
米国ワシントン(EBRI)  
英国ロンドン(日本国大使館一等書記官)赴任  
平成27年～ アクセンチュア(株) マネージング・ディレクター  
マッキンゼー・アンド・カンパニー シニア・D・アドバイザー  
九州朝日放送コメンテーター  
慶應義塾大学医学部非常勤講師 等  
令和元年～ BLOOMIN' JAPAN(株)代表取締役  
(株)インターネットインフィニティ社外取締役  
九州国際大学客員教授 等を歴任  
令和5年2月～ 北九州市長



